

継続的实施と内部・外部によるチェック

— HACCP導入後の管理をどのように継続するか、体制づくりとチェックの実際 — (前編)

当連載は、毎月の掲載内容に合わせて実践していくと、HACCPが導入できる道筋となっていました。いろいろな制度や決め事は、継続して守ることでその効果が発揮できます。最後のテーマの前編となる今回は、継続して運用するためのHACCP特有のポイントを解説します。

利益追求の下、合理的にHACCPを取り入れていかないと、システムはすぐに崩れます。特にHACCPはソフトウェアであるため、従業員全員が認識しないと崩れます。HACCPの継続管理を解説する前に、A社のHACCP導入時の失敗例を紹介します。

コロッケを揚げて店頭販売するA社は、HACCPを手順通り完璧に構築して現場に導入しました。ところが、監査したところ、コロッケの揚げ温度などを測っていない状況でした。作業標準はコロッケの中心温度の全数測定でした。コロッケに芯温センサーを刺すと穴が開き商品にならないという理

HACCP継続のポイント



NPO HACCP 実践研究会
副理事長

本間 忠雄 Tadao Homma

[プロフィール]

東京都立工業短期大学機械設計科卒業、明治製菓(株)入社。菓子・食品の製造、薬品の製剤・培養などのハザード設備の工場・施設のエンジニアリングを一貫して担当し、多数の工場の建設に携わる。食料生産技術部部長などを歴任。2005年より現職。

由で、作業者は従来通り揚げ状態を目で見て出来上がりだと判断していました(図1)。このような状況にならないよう考えてみましょう。

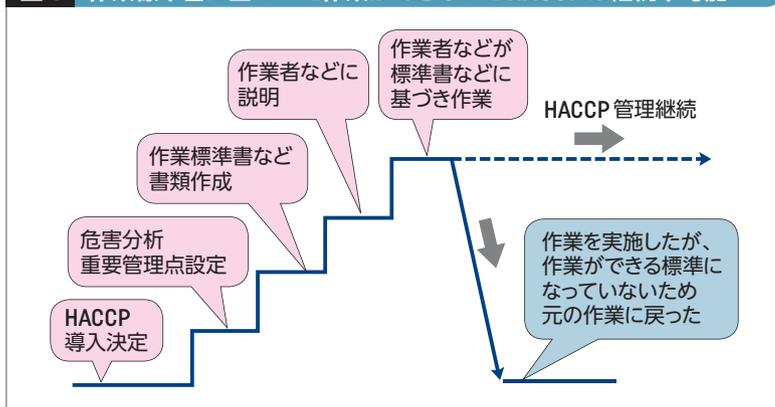
HACCPは本気で導入しないと崩れる

HACCP管理には、日常行う管理と、製造ラインや作業形態の変更などのその都度行う特別管理の二つがあります。日常管理は作業者全員で行い、特別管理は当該実施者が基準にのっとり管理します。

日常の管理でも特別管理でも、都合が見つかったときは直ちに所定の危害分析などを行い、管理状況を変更・改訂しないと、HACCPは形だけとなり何のメリットも継続されなくなります。そのために、HACCPメリツトの維持・継続ができる仕組みを作っておく必要があります。HACCP継続イメージを図2、HACCP継続の基本役割を表に示します。

HACCPを導入したのに、形だけになっていませんか？ 結局、製造状態が従来のままになってしまっている例が多く見受けられます。一般に維持管理ができないのは、決まり事を守っていないためということが多いのです。当初は外部コンサルタントなどの指導を得て始まったも、作成した基準書な

図1 作業標準書に基づいた作業ができないとHACCPは継続不可能

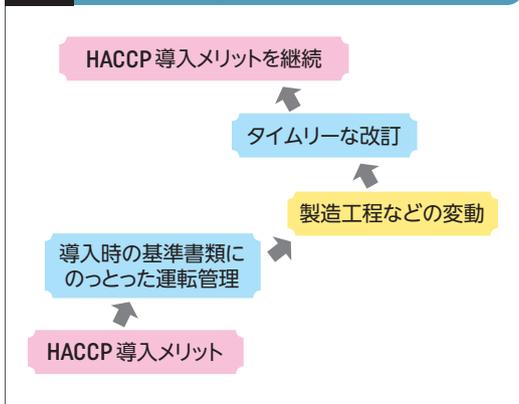


HACCPの本質を全社で理解している

HACCPは人が行うものです。経営幹部をはじめ従業員一人一人が、その役目の中で新しく取り入れた考えを理解して運用することが重要です。それにより、HACCPを特別視せず従

どの書類を戸棚にしまったまま実際の作業に活用されない原因には、全従業員にHACCPを周知徹底していないことが挙げられます(図3)。

図2 HACCP 継続イメージ



■ 危害要因の管理を徹底して行う

危害要因は、生産に関わるさまざまな変化によって変わります。その変化を知って、誰がどのように危害分析を行い対処するかを決めておくことが必要です。

ある企業では当初は「チーム」とい

来の作業の一環として溶け込ませます。HACCPの導入が利益につながっている企業の多くは、HACCP継続の共通の要素を持っています(図4)。慣れない当初はいろいろな書類ができません。その後、必要な書類だけに改善することで、製造管理がしやすくなります。そして、成功事例の積み重ねがやる気を起こさせます。

表 HACCP 継続の基本役割

	HACCP 管理時期		HACCP 教育	HACCP 作業内容	改善処理
	日常	特別			
経営幹部	○	○	教育計画作成を指示、決定	定期的チェック(内部監査)、指示・確認	工程の重要管理点を把握、改善確認
HACCP実務者(HACCPチームリーダー)	○	○	教育計画を立案	定期HACCP会議などを開催、啓発活動	HACCP管理の定期的チェック(内部監査)と改善提言
製造工程変更責任者(部署担当者)	—	○	教育訓練を受ける	HACCP見直し、幹部に提言	製造変更などのチェックと危害分析
従業員	○	—	教育訓練を受ける	日常管理と作業標準の順守・実践	日常チェックと一般衛生不適合を提案・改善

う名称でHACCP維持活動をしていましたが、「作業があるから忙しくて会合に出られない」などと欠席者が続出して形骸化しました。そこで社長と相談し、名称を「委員会」に変更して会社の組織の一つという印象を強くしたところ、欠席者はなくなり活発な改善・管理活動も復活しました。主な改

図4 HACCP 継続の要素

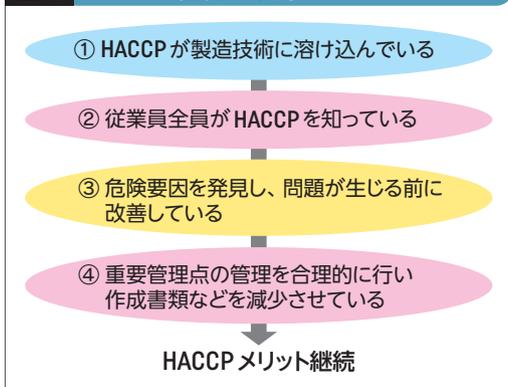
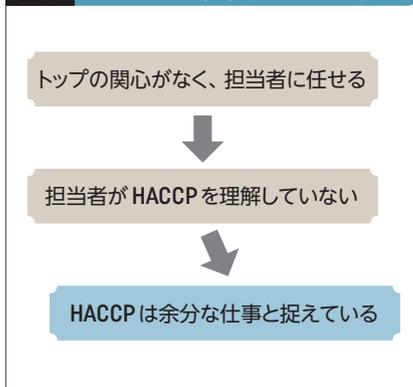


図3 HACCP を継続できない原因



■ 人材教育はHACCPの基本

HACCPはソフトであり人が行うものなので、「HACCPは人である」と考えています。教育は知識・技能の習得だけでなく「やる気がないと駄目」

図5 HACCP 継続の管理活動

- ① HACCP 導入時の書類などを更新、改訂する
- ② 製法変更・合理化して工程が変わったときに HACCP 対応する
- ③ 新製品を導入したら HACCP 手法で管理する
- ④ 設備ラインを増設して配置が変わったら HACCP 管理を見直す
- ⑤ 従業員が変動したら HACCP 管理を見直す
- ⑥ HACCP に関する従業員研修を定期的に行う
- ⑦ 事故やチョコ停など稼働が異常になったときの危害分析を行っておく

善・管理活動を図5に示します。

といわれていますが、HACCPの基本は体験です。HACCP教育の一環としてTPM、QC、5Sなどの小集団活動が成果を上げています。

◇

前述のA社はその後、当会のアドバースの下に改善に取り組み、フライヤー油の温度とコロッケ中心温度の関係、作業時の油温度の測定などの作業標準を変え、HACCPを見事に継続しています。

後編となる今回は、HACCPのチェックポイントを解説します。